

令和5・6年度 始良・伊佐地区研究協力校「学力向上:複式・小規模校教育」
 令和6年度 始良地区へき地・小規模校教育研究会
 令和6年度 霧島市複式学級研究会(北部・南部)
霧島市立中津川小学校研究公開
 (令和6年10月10日公開)

1 研究主題

児童に確かな学力をつける算数科の授業づくり
 ～ガイド学習の充実及びICTの効果的な活用を通して～

2 研究発表

霧島市立中津川小学校は、令和5年度から2年間にわたり、地区指定研究協力校として、研究・実践に取り組んできました。

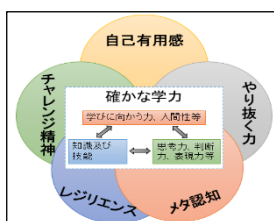
今回の研究では、これまでの研究・実践をより深めるため、副主題を「ガイド学習の充実及びICTの効果的な活用を通して」とし、ガイド学習の充実により間接指導の質を高めることで、確かな学力の定着を図ることとしました。また、ICT機器の効果的な活用により、複式学級における個別最適な学びの時間の充実を図ることとしました。

多様な意見や考えに触れることができるように、近隣校である持松小学校とオンライン授業や交流をするなど、新たな取組も始めています。

研究内容、具体的な取組は、以下のとおりです。



【研究発表の様子】

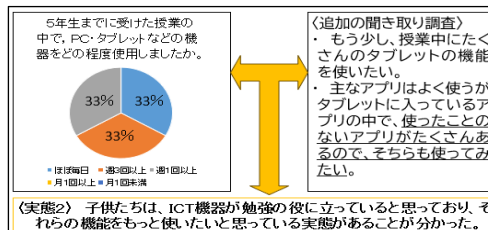


(1) 中津川小学校における確かな学力や身に付けさせたい力

- ・ 「学びに向かう力, 人間性等」, 「知識及び技能」, 「思考力, 判断力, 表現力等」(確かな学力)
- ・ 「自己有用感」, 「チャレンジ精神」, 「やり抜く力」, 「レジリエンス」, 「メタ認知」(非認知能力)

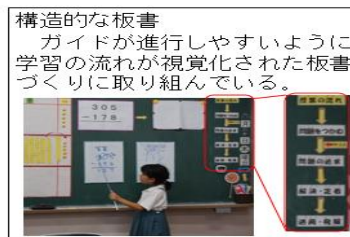
(2) 児童の意識調査

- ・ 算数への苦手意識と授業の在り方に関する意識調査
- ・ 学習時のICT機器使用に関する意識調査



(3) 児童が思いや考えを表現し合うためのガイド学習の充実

- ・ 学習進行表の視覚化によるガイドの育成
- ・ 板書の構造化による児童自ら学びを進める環境づくり
- ・ ガイドを中心とした児童間の思いや考えの交流



(4) ICT機器活用方法の分類・組み合わせによる効果的な活用

「配信・共有」, 「撮影・記録」, 「可視化」, 「創造」, 「操作・体験」

(1) 配信・共有 (2) 撮影・記録 (3) 可視化 (4) 創造 (5) 操作・体験

1 $\frac{1}{2}$ Lの天然水があります。
 この天然水を、クラスのみんなで $\frac{1}{5}$ Lずつ飲むと、何回飲めますか。

6年生「分数÷分数」
 数の乗法や除法を適用する問題づくり
 共有ノートで問題を作ることで、お互いに作った問題を共有することができた。その結果、自分の作った問題の付加・修正にすぐに行うことができた。

(1) 配信・共有 (2) 撮影・記録 (3) 可視化 (4) 創造 (5) 操作・体験

5年「倍数と約数」
 長方形を敷き詰めて正方形を作る際に、可視化できるようにした。その結果、試行錯誤しながら自分の考えをまとめることができたようになった。

3 公開授業

5年生「分数のたし算とひき算」、6年生「立体の体積」の複式学級における算数科研究授業を行いました。

いずれの学年でも、既習内容を振り返ることができるように、これまでの学習記録データの活用を促しました。また、ガイド役が自信をもって進めることができるように、板書やガイド学習進行表による学習の流れの可視化を行いました。

児童は学習の見通しをもち、黒板の学習の流れやガイド学習進行表を手掛かりに、主体的な学習を進めていました。また、相互の意見を交流したり、考え方のよさや違いを比較・検討したりしながら、見方や考え方を見出そうとする姿が見られました。



【5年生の授業の様子】



【6年生の授業の様子】

4 授業研究

授業研究では、ワークショップ型による研究協議を行いました。研究内容や公開授業について「課題」や「成果」、「改善策」、「自校の悩みや取組」等について、活発な意見交換が行われました。

なお、参加者の意見・感想の一部を下記に記載します。



【授業研究の様子】

【研究内容について】

- 身に付けさせたい子供の能力を非認知能力で分類していたのは分かりやすかった。この中にコミュニケーション能力が入っていても良さそうな気はする。
- 実態調査を丁寧にされていて、小規模ならではの指導がなされていることが分かりました。複式指導の中でガイドをどのように育成するかが肝となるのでガイド学習の充実は外せないと感じました。
- 進行表や構造的な板書により、ガイドやフォロワーも安心して学習に取り組むことができる。ICT活用については、5つの機能に分けて指導にあたっているところがよい。

【公開授業について】

- 子供たちが主体となって授業を進め、考え、学ぶ姿を見て、自分の授業を見つめ直すきっかけになりました。
- 子供たちがよく考えていて、しっかり自分の意見を言えていた。教師の役割についても考えた授業だった。
- 先生が全体に向かって一言も声を発しない授業を初めてみました。そして、あの環境の中で落ち着いて学習を進めていた子供たちに感動しました。
- 答えややり方を教えるのではなく、考え方に重きを置いていることを感じた。令和の日本型教育の授業がこれなのだろうと思うことだった。
- 6年生については、まとめの文末表現までこだわって考えていたので、自分たちで学習を進める楽しさを味わっていると感じた。

【研究協議について（ワークショップを含む）】

- よい研究がなされているので、小グループでの協議ではなく、全体で複式小規模校が抱える課題を出し合い、それをガイド学習やICT等で解決するための方法を考えていく方が、中津川小の研究が他校に広がるきっかけになったのではないかと思うことだった。
- 先日、万膳小学校も三体小学校とオンライン授業をしたばかりでした。今後はクラスルームをつないで、相互授業したり、交流を頻繁にしたりする計画を昨日立てました。